

慰安婦報道をめぐる名誉回復を求めて 植村訴訟第6回口頭弁論＝東京地裁＝

8月3日午後3時、東京地裁で、植村隆さんが報道した慰安婦問題記事を「捏造」と中傷報道した西岡力と文藝春秋社を名誉棄損で訴えた「植村訴訟」の第6回口頭弁論が開かれました。103号法廷は植村裁判を支援する人々で96の傍聴席はいっぱいに。「真相を広める会」からは、山野井孝有代表、水久保文明事務局次長と私が傍聴しました。

この日は弁護団が準備書面と証拠多数を提出。永田亮弁護士が「原告の植村さんに向けられた苛烈なバッシングの内容を明らかにし、それが週刊文春の記事に起因していること、及び被告文藝春秋にバッシングを発生させようとの積極的な『害意』があったことを主張・立証する」として、準備書面要旨を朗読しました。

この後、裁判長が「次回口頭弁論は、12月14日午後3時から」と提示。約20分で終わりました。植村隆さんの名誉回復を求める裁判は、東京に続いて札幌でも櫻井よし子、新潮社、ダイヤモンド社、ワックを提訴しています。札幌では第4回＝11月4日、第5回＝12月16日が予定されています。

植村さんの娘に対する「ネット中傷訴訟」勝訴！

植村訴訟第6回口頭弁論前に、同じ東京地裁で「ネット中傷訴訟」に勝利判決が出ました。植村さんが「捏造記者」とバッシングされて以降、植村さんの長女（当時高校2年生）が、ツイッターで顔写真とともに名前や学校、学年が書かれたうえ、中傷投稿が繰り返されました。この事件を知った坂口徳雄弁護士らがボランティアで裁判を起こしたものです。

判決は、ツイッターで中傷投稿を繰り返した男性に対して「投稿は原告のプライバシーや肖像権を侵害する違法なものである」として請求通り170万円の支払いを命じました。

<報告集会とシンポジウム> 第6回口頭弁論終了後、隣接の弁護士会館で報告集会と「メディアの萎縮を打ち敗れ」をテーマにシンポジウムが開かれ、新崎盛吾・MIC議長、前新聞労連委員長、岩崎貞明・「放

弁護団によると、匿名であるツイッター投稿者を特定するために、米国ツイッター者から投稿者のIPアドレスを入手し、それをもとに国内のプロバイダーに投稿者の氏名や住所を開示を求めました。こうした準備に1年以上もかかったといいます。今回の判決について、坂口弁護士は、「(ネットの匿名ユーザーは) およそ見つからないと思ってやっているだろうが、限界はあっても最後は突き詰められる可能性がある。今回の発言で再確認できた」と評価しています。ネットを使って匿名で誹謗中傷を繰り返しているやからに対する反撃の手段を確保できた意義は大きいと思います。

送レポート」編集長、香山リカ・BPO前委員が、「政府からの圧力に抗するためには何が必要か」「萎縮と自粛を打破するためには何をすべきか」について、問題提起しました。
(福島 清)



報告集会の最後に「娘の圧勝でますます元気になった。頑張る」と決意表明した植村隆さん

植村隆さん・支援団体のみなさんと交流

植村訴訟第6回口頭弁論前々日の8月1日、千代田区労協事務所で植村さん・支援団体のみなさんと交流会を開き、支援体制などについて話し合いました。(写真は右から、植村裁判東京支援チーム・文聖姫さん、植村裁判を支える市民の会(札幌)事務局長・七尾寿子さん、植村さん、山野井孝有・北大生・宮澤弘幸「スパイ冤罪事件」の真相を広める会代表、水久保文明・同事務局次長、福島清、水野孝昭・元朝日新聞記者のみなさん。写真にはいませんが、このほかに佐藤和男・元朝日新聞記者、長谷川綾・北海道新聞記者が参加しました)

支援チームからは「札幌では裁判への傍聴者も多く、



関心が高いが東京裁判では、まだ傍聴席に空席がある。毎回満員にすることが裁判所へアピールする力となる。ぜひ傍聴を呼びかけてほしい」と要請されました。

東京近辺とマスコミ関係の会員のみなさん、ぜひご協力をお願いします。次回は12月14日午後3時です。

宮澤・スパイ冤罪事件を報道した植村隆記者

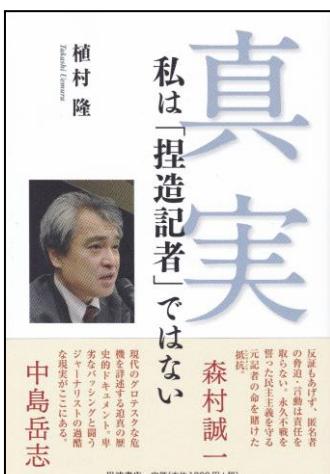
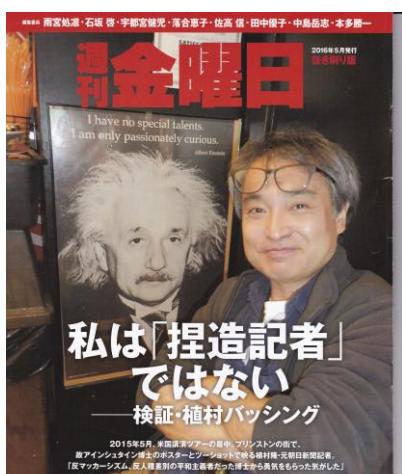
植村隆さんは、朝日新聞北海道支社報道センター時代、宮澤・スパイ冤罪事件について、積極的に報道。

2014年1月24日、上京して新宿・常圓寺で山野井孝有・代表を取材、2月21日付朝日新聞北海道版で紹介しました。

The clipping includes a small portrait of植村隆 (Shigenobu Uemura) and a larger photo of him sitting next to the grave of 宮澤弘幸 (Hiroaki Miyazawa). The text discusses the Miyazawa冤罪事件 (冤罪 case).



宮澤弘幸のお墓を中心に、植村さん（左）と山野井さん（2014年1月24日、新宿・常圓寺）



「週刊金曜日」抜き刷り版

2016年5月発行 600円

「眞実—私は『捏造』記者ではない」

岩波書店 2016年2月26日 1800円

支える会公式ブログ
<http://sasaerukai.blogspot.jp>

植村裁判資料室
<http://sites.google.com/site/uemuraarchives>